

三輪区コミュニティ新聞

あ 馬酔木 ひ

第 8 号

平成 31 年 1 月 発行

◆明けましておめでとーございます◆

三輪区長 増田 富夫

皆様には健やかに新年を迎えられ、謹んでお慶び申し上げます。三輪区の自治活動に本年もご協力をお願い申し上げます。

平成31年の干支は「亥」です。十二支を植物の一生と考えると、戊年でたわわに実ったエネルギーを蓄えて、次の世代へと向かう準備をするという意味の年です。

平成22年に奈良県の一市一町づくりに三輪の地が推薦され、昨年11月17日に

奈良県知事、 桜井市長、 大神神社宮司らの出席のもと、大神神社参道整備の鍬入れ式が行われました。私も出席させて頂きうれしく感慨深いものでありました。

本年2月～3月に、二の鳥居からJR踏切までの区間の工事が着工されます。

その後、引き続き、大鳥居までの参道整備と沿道のまちづくり、伊勢の「おかげ横丁」のような賑わいのある三輪校区のまちづくりに、継続的に取り組んでいかなければと思っています。

まちづくりは、建物、道路、景観等のハード的なだけでなく、ソフト面からのまちづくりも大切です。地域住民が

◆第二回「まほろば国際音楽祭」◆

「まほろば芸術ラボ」主催(理事長・三輪区出身)

さん

昨年、10月30日(火)、桜井市民会館

ロビーに於いてのオープニングセレモ

ニーには、 桜井市長、 県会議員、

教育長、 桜井市観光協会会長の

他、三輪からは増田三輪区長、大神神社財務局長もご臨席下さり、多くのご来賓のもと、華やかに音楽祭のスタートを切ることができました。

その後、大神神社、談山神社、等彌神社、聖林寺、土舞台で、5日間のプレ公演を行い、11月4日(日)には「音楽祭本公演」として、桜井市民会館ホールにて、ドイツとオーストリアから参加下さった合唱団員50名と昨年1月より練習を重ねてきた「まほろば国際音楽祭記念合唱団」70名との合同による「フォーレ レクイエム」の演奏を行いました。

桜井高校合唱部や「まほろば国際音楽祭記念合唱団」による「ふるさとの四季」も演奏され、クラシック音楽の演目で集客は難しいといわれていた同ホールが、ほぼ満席のお客様で埋め尽くされました。

音楽祭開催には約2年間の準備期間を要し、その間、増田区長には多大なるご助力を賜りました。

「みわ♥カフェ」へのお招きや町内の多くの皆様に宣伝を頂くなど、三輪に住まいしております母からその様子を聞く度、故郷の三輪の皆様の応援のお心に感謝の気持ちで一杯でした。

本音楽祭は、私が代表理事を務める一般社団法人「まほろば芸術ラボ」の事業の一環で、当法人は「芸術の力によって

社会に貢献する」ことを目的とした非営利型法人です。

昨今の地方衰退が著しい中、「芸術」はお金を生むということからは一番遠いかも知れませんが、「芸術」が持つ「人を励まし」「人と人をつなぐ力」を信じ、これからも活動して参りたいと思っています。

第二回「まほろば国際音楽祭」は、2020年11月に開催いたします。元来、芸術、芸能は民の安寧と豊穡を願って捧げられたものです。

国の「まほろば」である桜井市の、中でも大神様に護られてきた三輪の土地は、「国際音楽祭」に最も相応しい土地であると思っております。これからも三輪の皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



まほろば国際音楽祭記念合唱団

◆一般県道三輪山線 大神神社参道整備事業の起工式を開催◆

2月から着工予定

昨年11月17日(土)に一般県道三輪山線大神神社参道整備事業の起工式を、大鳥居南側の大神神社参拝者駐車場で行いました。

起工式には、

市長、地元関係者ら23名が出席し、工事の無事完成を祈願しました。

知事は「参道を核に落ち着きのある賑わいを創出するために、県、市、自治会が一体となり事業に取り組んでいく」と挨拶を行いました。

知事、

県議会議員、

市議員、市長、市議会議長、増田富夫まちづくり協議会長が鍬入れ式を行いました。

増田まちづくり協議会長が万歳三唱の音頭を取り、起工式を締めくくりました。

県では、平成26年に桜井市と「まちづくりに関する包括協定」を締結し、桜井市と協働で、大神神社参道周辺地区のまちづくりに取り組んでいます。

参道整備に係る県の工事は本年2月から着手する予定であり、県内で策定された「まちづくり基本計画」の中では、新たに着工する初めての県工事となります。



参道整備起工式

参道整備は、無電柱化やバリアフリー化、参道の中央参道形式、歩道のインターロッキング、松並木をできるだけ残した緑化など、「大神神社の上品な参道づくり」と三輪のまちの賑わい創出」に相応しい整備がなされます。

参道整備完成の暁には、参道周辺は、四季の彩りに映え、人々の営みが息づく空間へと変貌し、参拝者、来訪者を迎えてくれるでしょう。

参道整備が、市の発展、賑わいのある三輪のまちづくり、県の発展に繋がることを期待しています。

(中和土木事務所計画調整課)

◆「まちづくり勉強会」開催◆

今後のまちづくりに対する理解を深めるため、11月7日(水)、大神神社「昭和の間」で、「小江戸川越観光協会」の専務理事をお招きして、勉強会が開催されました。

討論には、奈良女子大学

准教授、奈良県まちづくり推進局

地域デザイン推進課長、桜井市林功理事、三輪区から、

まちなか活性化部会長が参加されました。

川越は、小京都のように、江戸時代の風情を今に伝える小江戸の一つとして、「蔵造りの街並み」や「時の鐘」などで知られるところです。

近年、川越は、観光客の増加などかつての賑わいを取り戻し、活気に溢れたまちへと復活し、全国から、まちづくり、活性化成功のモデルケースとして注目されています。

街のシンボル「時の鐘」も、無電柱化のまちづくりによって、その雄姿は街に映え、地元住民はもとより、訪れる人の心を和ませています。

「小江戸川越観光協会」加藤専務理事の、川越の無電柱化や街灯の高さ規制、計画的な店舗誘致などの取り組み経緯や苦労話の基調講演を受けて、大神神社参道周辺地区まちづくりのあり方について、課題や川越のように成功するにはどのように取り組むとよいか、議論されました。



まちづくり勉強会

勉強会には、中和土木事務所 所長や増田富夫三輪区長、大神神社の管財局長、桜井市のまちづくり部長も出席され、まちなかを含めた、大神神社参道周辺地区の賑わい創出に、「参道整備をして終わりではなく、目指す姿の実現に向けた、参道を活かすための取り組みを継続的に実施していくことが重要であり、地元の熱意も必要」、「参道整備をきっかけに、各種機関、組織、団体が連携してまちを盛り上げることができないか」、「まちづくり推進リーダーの世代間引継ぎ」等の意見が交わされました。

(桜井市商工振興課)

◆想い出・歴史散歩◆

―三輪出口橋から望む―

大正4年の北方の街並み―

前号の大泉打合橋付近の馬場先下之町に続いて、古の三輪の街並みの想い出写真をしばらく連続して掲載致します。

今号は、「大正4年の出口橋からみた北方の街並み」風景です。

100年以上前の様子ですが、景観は、東南角を除くと、今とあまり変わっていないことがうかがえます。

写真左下のお家の軒先には、珍しい「ガス灯」が写っています。写真は、行列をなしての葬儀風景です。

当時の葬儀の様子を知る貴重な写真です。

出口橋から南方桜井への新道は、昭和7年に開通しました。



出口橋からみた北方の街並み

◆「いきいき百歳体操」◆

「健康寿命を伸ばしましょう」

「ふれあいサロン みわ♥カフェ」で行っています「いきいき百歳体操」は、平成29年5月19日を初回に、今年で3年目を迎えます。

毎週金曜日の9時30分から、三輪区公民館で行っており、毎回20名ほどの参加者が、元氣よく和やかに体操をしています。椅子に座ってする簡単な体操ですが、負荷をかけてゆっくり行うことで、腕や足の筋力アップになります。

定期的に、包括支援センター「ひかり」に体力測定をしてもらっています。

参加者の皆さんの記録から、筋力の向上は明らかで、数字に表れています。

参加者は、「いきいき百歳体操」が、健康寿命や介護予防に効果があることを実感されています。

昨年末の11月12日(月)に、桜井市「いきいき百歳体操交流会」が市民体育館であり、三輪区からは8名の参加がありました。

当日の交流会は第3回目を迎えてのものでしたが、「いきいき百歳体操」を行っている市内のグループは年々増え、現在市内には54あります。

約220名の参加者が楽しく体操をしました。

「いきいき百歳体操」は継続して行うことが大切で、「みわ♥カフェ」からより多くの人に参加頂けるように、今後も皆さんとともに頑張っていきたいと思っています。

最近体力に自信がなくなってきた、筋力が落ちてきたと思われる人は、ぜひ参加して頂き、人と人の交流も楽しんで下さい。
(宝来町 切畑屋)

◆「スポーツ吹矢」体験◆

11月18日(日)、三輪小学校体育館で、三輪地区社会福祉協議会・三輪校区体育協会共催の「スポーツ吹矢」が開催されました。

健康、精神力強化、ふれあい等を目的にした、年齢、男女を問わない国民的スポーツです。

模範演技のあと、参加者は指導を受け、一礼をして、息

を腹いっぱい吸い込んで、的を狙って息を放つと、「パツ」と

的に命中した音が聞こえました。

複式呼吸、息を吹き込む瞬間

の間合い、精神の集中は、健康に良いと参加者の感想です。



スポーツ吹矢体験の様子

◆陽だまり・「三輪 ミニ集いの広場」開催◆

～みんなみんなよっといで(0歳～就学前の子どもと保護者)～

「ふれあいサロン みわ♥カフェ」は、三輪区の社会福祉委員さんのご尽力で、「介護保険制度改正」にともなう「軽度の方への地域支援」のために開設され、毎月第三金曜日に、三輪区公民館で開かれています。昨年の11月9日(金)、「みわ♥カフェ」は、「カフェの開設趣旨」とは異なりますが、桜井市保健福祉センター「陽だまり」の要請を受けて、「0歳～就学前の子どもさんのミニ集いの広場」を持ちました。

「陽だまり」では、就学前の子ども(乳幼児から小学6年生まで)と保護者が気軽に遊び、子育ての不安や悩みを専門の保育士や臨床心理士に相談できる、「つどいの広場」を開いています。遠いなどの理由で出向けない方のために、「つどいの広場」の出張といった場を持ちました。カフェ参加の高齢者と幼児との触れ合いの場ともなりました。

◆土砂災害説明会・消火器訓練◆

昨年は、集中豪雨や台風で、何度も「避難準備・勧告・指示」の「避難情報」が出されました。

三輪自主防災会は、9月9日(日)に土砂災害説明会と消火器訓練を実施しました。

三輪・金屋地区の「土砂災害警戒区域(イエローゾーン)」と「土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)」の説明が、県土木事務所からありました。

三輪区は、いずれの警戒区域からも区域外とのことですが、日頃から警戒情報に注意して下さい。

写真は、警戒区域の図を食い入るように確かめられている参加者の様子です。



土砂災害説明会

◆大相撲大阪場所・二子山部屋宿舎◆

大相撲3月大阪場所で、二子山部屋(親方・元大関雅山)、総勢10人の力士が、2月20日～3月末まで、馬場先下之町の池田宅を宿泊として、稽古は、芝運動場の土俵を使用することです。力士を間近に見られて楽しみです。

◆「みわ♥カフェ」でヨガ体験◆

いつでも どこでも 誰でも 座って手軽にできる「チェアヨガ」

昨年9月14日(金)の「みわ♥カフェ」は、椅子に座ってできる「チェアヨガ」を体験しました。

インストラクターの辻知恵さん(金屋)の指導のもと、皆さん、健康・体力維持に挑戦しました。

「いきいき百態体操」だけでなく、「チェアヨガ」も毎日やれば、介護予防にいい効果があると思います。



チェアヨガ体験

◆行事予定◆

平成31年1月～3月行事予定

○ふれあいサロンみわ♥カフェ

日時 1月11日(金) 13時30分
場所 三輪区公民館

○まちづくりシンポジウム

日時 1月29日(火) 13時30分
場所 大礼記念館

○恵比須神社「初市祭」

日時 2月5日(火) 15時
行事 鯛引き

日時 2月6日(水) 10時
行事 初市大祭

日時 2月7日(木) 16時
行事 御供まき

○大和川清掃

日時 3月3日(日) 9時
場所 松之本公民館集合

○三輪自主防災会

日時 3月23日(土) 18時
場所 三輪区公民館

○三輪区町総代会

日時 3月23日(土) 19時
場所 三輪区公民館

○ふれあいサロンみわ♥カフェ

日時 3月29日(金) 13時30分
場所 三輪区公民館

伝言板

◆JR三輪駅前公衆トイレ2月に竣工
「大神神社参道周辺地区まちづくり」の一環として、「JR三輪駅前公衆トイレ」の工事が始まりました。竣工は、工事の都合により平成31年2月となります。

新しいトイレは、男女別で多目的トイレ(身障者用トイレ)やベンチを設置した、最新の設備を備えたものです。

◆防犯カメラの設置

三輪区で初めての防犯カメラを南西町、宝来町に設置しました。防犯や子供たちの通学の安全見守りなど、安心して暮らせる環境整備への取り組みです。

◆プランター・花壇の植え替え

三輪区公民館前や駅前のプランターや花壇に、パンジーとスノボールを堀田さんご夫妻、島岡正道さんご夫妻、伊藤さん、松出さん、市職員の方々のご協力を得て植えました。

◆高齢運転者の免許証更新について

◎75歳以上の方

高齢者講習の前に認知機能検査を受検しなければなりません。検査の予約は、運転免許センターで行っています。(予約電話、0744-2910290)

◎70～74歳の方

高齢者講習を受講しなければなりません。自動車学校へ予約して下さい。

